



人々が学び、成長するために

人は自ら成長する

エリック・カールという絵本作家の作品「はらぺこあおむし」は世界中の子どもたちが大好きな絵本です。

あおむしは、満月の夜、青い葉っぱの上に白い一粒の卵として生み出されます。

卵は太陽の光を浴びて、ある朝小さいあおむしになるのです。お腹がペコペコのあおむしは、毎日えさを探して食べ続け、めきめき大きくなり、やがてさなぎに変身します。

そして繭に閉じこもり、ある朝



さなぎが羽化して色鮮やかな美しい蝶になって輝きます。

この「はらぺこあおむし」のお話は、あらゆる生き物は自ら変わる力を持つていることを私たちに教えています。

人もまた、0.1ミリほどの受精卵から出発して成人になり、成熟していきます。そしてやがて老化し、生を終えます。

その人生の過程で、人は自らの意思で、あるいは無意識に物事を選択して、それぞれの道を歩みます。それは、自己形成の過程であり、自ら変わり続けて自分を創り続ける営みです。

図書館の役割

人は情報や知識を得ることでよって生活を維持し、さらに成長していくことができますが、そのためには人々がもつ「知る権利」が保障されていることが大切です。

図書館では、学習や調査研究、レクリエーションなどを通じて自己の成長を求める個人及び団体に、様々なメディアを使って資料とサービスを提供し、多様な知識・思想へのアクセスを保障しています。また、誰もが平等にサービスを受けることができます。

さらに、読書記録などの個人情報保護が厳格に守ることが義務付けられており、図書館利用に関するプライバシーを保護しています。

これらは、人々の自由な知的活動を保障し、人々の学びと成長を支援していくことを目的として、図書館が設置されているからです。

図書館で育む人権意識

竹原書院図書館では、赤ちゃんから高齢者まで幅広い世代を対象として、多様な利用目的に応えるために、様々な蔵書を取り揃えています。

本は、多くの知識や広い視野を与えてくれます。図書館を利用することが、世の中を見つめ直すきつ

人権啓発講座

「格差社会と差別事件に見る日本の人権状況」

日時 10月20日(火) 18:30~20:00
場所 人権センター 1階会議室
講師 部落解放同盟広島県連合会副委員長
ヒロシマ人権財団理事 岡田 英治さん
入場料 無料
問い合わせ 人権センター ☎22-3726



かけになるなど、みなさんにとっての学びや成長につながることもあるでしょう。
図書館は知識、思想及び文化に通じる扉です。ぜひあなたも図書館を利用してみてください。